

iPad授業ガイド



小学校1年 国語



はじめに

このガイドについて

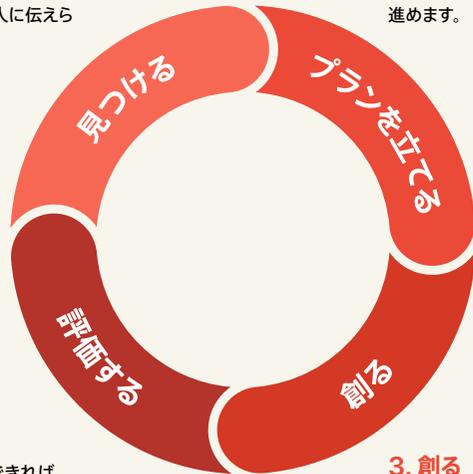
このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける

体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる

収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



4. 評価する

自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

3. 創る

スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。[文部科学省作成の情報活用能力の体系表\(16ページ以降\)](#)は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。小学校低学年向けのガイドでは、ステップ1に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランス良く伸ばしているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

[ルーブリックをダウンロードする](#) 

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

単元

文を作って発表する

iPadを使って、身近にあるものを文章で表現してみます。生徒が自ら撮影した写真を使うことで、作った文をほかの生徒たちに伝えようとする意欲がさらに高まります。

好きなものを伝える

iPadを使って、伝え合いの活動をより対話的なものにします。自分の発表を客観的に聞く機会を作ることで、生徒たちは自分の文章や話し方について、新たな気づきを得ることができます。

1年間を振り返る

iPadを使えば、1年間学んできたことをほかの生徒と振り返りながら、魅力的な作品として形にすることができます。完成した作品をほかの生徒たちと共有し、お互いに評価し合うことによって、1年間の振り返りがより深いものになります。

活動内容

- ①身近な「(主語)が(述語)。」を探そう
- ②文を作ろう
- ③みんなの前で発表しよう
- ④完成した作品の感想を伝え合おう

- ①「好きなもの」を撮影しよう
- ②「好きなもの」を文章で書こう
- ③自分のビデオを撮影しよう
- ④ビデオを見て気づきを共有しよう

- ①作品や写真を振り返ろう
- ②詳しく書くテーマを決めよう
- ③思い出ビデオを作ろう
- ④完成したビデオを見せ合おう



使用するアプリ



カメラ Keynote



カメラ Pages



写真 Numbers Clips

文を作って発表する

iPadを使って、身近にあるものを文章で表現してみます。生徒が自ら撮影した写真を使うことで、作った文をほかの生徒たちに伝えようとする意欲がさらに高まります。

1	見つける	第1時 「(主語)が(述語)。」の文を読む	活動アイデア 1 5ページ 身近な「(主語)が(述語)。」を探そう
2	プランを立てる	第2時 「(主語)が(述語)。」の文を書く	活動アイデア 2 5ページ 文を作ろう
3		第3時 挿絵を見て 「(主語)が(述語)。」の文を作る	
4	創る	第4～5時 身近で見つけたものを発表する	活動アイデア 3 6ページ みんなの前で発表しよう
5	評価する		活動アイデア 4 6ページ 完成した作品の感想を伝え合おう

学習目標

文の中における主語と述語との関係に気づき、主語や述語、句点、語と語の続き方を意識して文を書く。目的に沿って、話し、聞く力を習得する。

身につく力

主語と述語を意識して文を作る力。目的に沿って話したり聞いたりする力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1～4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

文を作って発表する

見つける 活動アイデア1 身近な「(主語)が(述語)。」を探そう

- ① 身近で「くるまがはしる。」のように「(主語)が(述語)。」の形の文で表現できるものを見つけ、iPadで撮影します。撮影する時は、「(主語)が(述語)。」の文で表現できるものが具体的に伝わるように、構図などにも気をつけます。
- ② 同じ被写体でも逆方向から見てみたり、特定の箇所にズームしてみたりすることで、違った発見があるかもしれません。

💡 iPad活用のヒント

カメラアプリでセルフィーを撮影してみましょう。📷をタップし、フロントカメラに切り替えます。次に、シャッターボタンをタップするか、iPadの音量ボタンのどちらかを押し撮影してください。撮影後にシャッターボタンの下に表示されるサムネールをタップして写真を確認したら、左上の「戻る」ボタンをタップしてカメラアプリに戻りましょう。

活用できるアプリ



カメラ

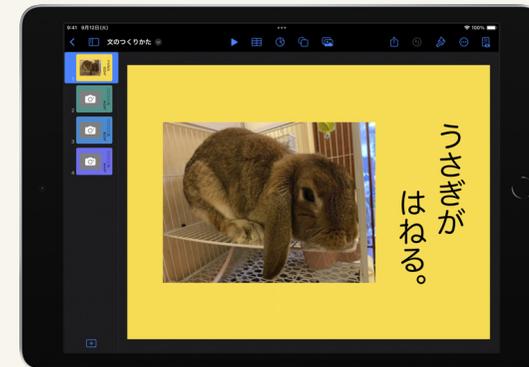
情報活用能力

コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作(ステップ1)
情報を複数の視点から捉えようとする(ステップ1)

プランを立てる 活動アイデア2 文を作ろう

- ① 様々なアニメーションが組み込まれたKeynoteのワークシートを配布します。
- ② Keynoteのメディアプレースホルダの右下隅にある⊕をタップします。活動アイデア1で撮影した写真を配置し、「(主語)が(述語)。」の形の文を作ります。
- ③ スライドの順番を入れ替えるなどしながら、「(主語)が(述語)。」の形の文を使ったストーリーを作ります。完成したら「再生」ボタンをタップして、内容の流れなどを確認してみます。

[「文のつくりかた」のワークシートをダウンロードする](#) ↓



活用できるアプリ



Keynote

情報活用能力

共通と相違、順序などの情報と情報との関係(ステップ1)
情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる(ステップ1)

文を作って発表する

創る 活動アイデア3 みんなの前で発表しよう

- ① 「わたしはなにを見つけたでしょう。○(頭文字)からはじまります。」など、撮影したものをクイズ形式でクラスメートに問いかけます。
- ② ほかの生徒の答えを聞いたら、活動アイデア2で作ったストーリーを発表します。



活用できるアプリ



Keynote

小学校1年 | 国語

情報活用能力

相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法(ステップ1)
相手を意識し、わかりやすく表現する(ステップ1)

さらに学びを深める 楽しい作品に仕上げよう

- Keynoteの別のアニメーションを使うことで伝え方がどのように変わるか、いくつか試してみましょう。
- Keynoteの描画で「(主語)が(述語)。」の形の文をスライドに書き込んでみましょう。
- Keynoteの「オーディオを録音」を使い、文章を朗読した音声をスライドに追加します。
- ほかの生徒たちの発表を聞いて、同じアニメーションを使用しても、話し方を変えると違う表現ができることを学びます。

評価する 活動アイデア4 完成した作品の感想を伝え合おう

自分の作品を見直したり、ほかの生徒の発表を聞いたりして、気づいたことを自分の言葉でまとめ、ほかの生徒たちとお互いの作品の良かったところを話し合ってみます。内容についてだけでなく、様々な観点から評価し合います。聞き手を意識してクラスを盛り上げるような発表ができていたか、ほかのグループの発表をしっかりと聞く姿勢でクイズに参加できていたか、作品作りや全体の発表を楽しみながら、もっと創作に取り組みたいという意欲につなげられていたかなどの点を考慮するとよいでしょう。人前で話す貴重な機会を最大限に活かすことができます。

好きなものを伝える

iPadを使って、伝え合いの活動をより対話的なものにします。自分の発表を客観的に聞く機会を作ることで、生徒たちは自分の文章や話し方について、新たな気づきを得ることができます。

1	見つける プランを立てる 創る	第1時 自分の「好きなもの」を選び、伝える	活動アイデア1 8ページ 「好きなもの」を撮影しよう
2		第2～3時 自分の「好きなもの」を「その理由」とともに伝える	活動アイデア2 8ページ 「好きなもの」を文章で書こう
3			
4		第4～6時 伝え合ったことをわかりやすく書く	活動アイデア3 9ページ 自分のビデオを撮影しよう
5			
6			

7	評価する	第7時 書いた文章を読み合っ、感想を伝え合う	活動アイデア4 9ページ ビデオを見て気づきを共有しよう
---	------	---------------------------	---------------------------------

学習目標

身近なものや経験したことなどから話題を決め、相手に伝わるように、順序を考えて話す。内容のまとまりがわかるように、書き表し方を工夫する。

身につく力

自分の趣味趣向を客観的に捉え、伝えるために必要な事柄を選ぶ力。話す順序を考える力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ

*活動アイデア1～4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

好きなものを伝える

見つける 活動アイデア1 「好きなもの」を撮影しよう

- ① iPadのカメラアプリで、自分の「好きなもの」を撮影します。
- ② Pagesのワークシートを配布します。メディアブレースホルダの右下隅にある \oplus をタップし、「写真またはビデオを選択」をタップして、撮影した写真を配置します。
- ③ ほかの生徒たちと、何を撮影してきたのかを見せ合い、グループで発表します。

「すきなものしょうかい」のワークシートをダウンロードする \downarrow

💡 iPad活用のヒント

カメラアプリで撮影する際に、ピントを設定してみましょう。写真を撮る前に、画像の中のピントを合わせたい部分をタップしてください。別の場所にピントを合わせたい場合は、その合わせたい部分をタップします。

活用できるアプリ



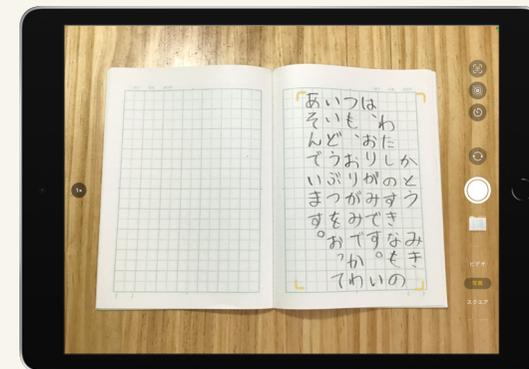
カメラ Pages

情報活用能力

画像編集・ペイント系アプリケーションの操作(ステップ1)
簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法(ステップ1)

プランを立てる 活動アイデア2 「好きなもの」を文章で書こう

- ① 「好きなもの」を紹介する文章を原稿用紙やノートに書きます。
- ② 完成した文章をiPadで撮影し、活動アイデア1と同様にメディアブレースホルダに配置すれば、手書きの原稿も作品の中に簡単に取り込めます。
- ③ ほかの生徒の書き方をよく見て、お互いの良いところを伝え合います。句読点の打ち方などを自分の書いたものと見比べてみます。



活用できるアプリ



カメラ Pages

情報活用能力

情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる(ステップ1)
情報の活用を振り返り、良さを見つけようとする(ステップ1)

好きなものを伝える

創る 活動アイデア3 自分のビデオを撮影しよう

- ① 活動アイデア2で書いた自分の文章を見直して、どのように読めば相手に伝わりやすいかを考えます。
- ② Pagesのワークシートのメディアプレースホルダの \oplus をタップし、「写真またはビデオを撮る」をタップします。自分の発表をビデオで撮影したら、右下の「ビデオを使用」をタップします。
- ③ 教室や学校以外の静かな場所で撮影することで、自分の声をよりはっきりと録音することができます。また、完成した作品を、家族や身近な人に見てもらいます。



活用できるアプリ



カメラ Pages

小学校1年 | 国語

情報活用能力

相手に伝えるようなプレゼンテーションの方法(ステップ1)
相手を意識し、わかりやすく表現する(ステップ1)

さらに学びを深める クラスメートの作品を見てみよう

- ほかの生徒が作った作品も見てみます。生徒によって、どのような違いがあるか考えましょう。
- ほかの生徒の発表を聞き、その感想を文章にしてみます。良かった点や、なぜそう思ったのかなどを表現しましょう。
- 発表ビデオの撮影を何度か行い、その中から一番良かったものを選ぶこともできます。
- ワークシートの作文、写真、ビデオの大きさや位置を変えるなどして、オリジナリティを出してみましょう。写真や作文、発表ビデオの**枠線スタイルを変更**したり、ページの背景色を変えたりして、自分らしいページを作ることができます。失敗したら \odot で戻せるため、自由に試すことができます。
- 活動アイデア1で写真を撮影する際には、同じものを紹介していても、写真の**角度や構図***1で伝わり方が変わってくることを意識しましょう。

*1) Everyone Can Create: 写真「身の回りにあるもの」 6ページ

評価する 活動アイデア4 ビデオを見て気づきを共有しよう

活動アイデア3で自分が作成したビデオを見直します。ビデオを見直すことは、自分の発表を客観的に見る貴重な機会になります。順序立てて話せていたか、話す速さや声の大きさは適切だったかなどの視点で、生徒同士で気づきを共有します。また、ほかの生徒の作品と比べて、その作品の方が良いと思ったことを1つ、自分の作品の方が良いと思ったことを1つ挙げるなど、多角的に見直してみます。

1年間を振り返る

iPadを使えば、1年間学んできたことをほかの生徒と振り返りながら、魅力的な作品として形にすることができます。完成した作品をほかの生徒たちと共有し、お互いに評価し合うことによって、1年間の振り返りがより深いものになります。



学習目標

1年間の出来事についての自分の思いや考えが明確に伝わるように、事柄の順序に沿った構成を考えて効果的に表現する。

身につく力

経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする力。

使用するアプリ



評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

iPad授業ガイドの詳しい使い方は

「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。

[「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする](#) Ⓣ

*活動アイデア1～4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

1年間を振り返る

見つける 活動アイデア1 作品や写真を振り返ろう

- ① 1年間、学習してきたこと、撮影してきたものを見直しながら、様々な出来事を振り返ります。
- ② 特に思い出に残った写真をいくつか選んで、「1年かんのおもい出」のワークシートに貼り付けます。
- ③ グループで写真や作品を見せ合って、それらを選んだ理由について話し合います。

「1年かんのおもい出」のワークシートをダウンロードする 

iPad活用のヒント

Numbersで描画を追加してみましょう。Apple Pencilを使う場合は、そのままスプレッドシートに描くことができます。指で描く場合は、画面右上の   の順にタップして、「描画」を選択してください。

活用できるアプリ



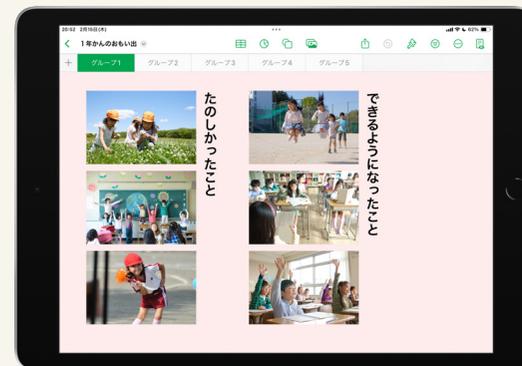
小学校1年 | 国語

情報活用能力

電子ファイルの呼び出しや保存(ステップ1)
共通と相違、順序などの情報と情報との関係(ステップ1)
身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、簡単な
絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する(ステップ1)

プランを立てる 活動アイデア2 詳しく書くテーマを決めよう

- ① グループになり、Numbersの共同作業を使って写真を分類します。どのようなテーマで分類できるか、案を出し合います。イベントごとの分類や、楽しかったこと、新しく知ったこと、できるようになったことなどの分類ができます。
- ② グループで分類したテーマの中から1人1つテーマを選び、自分で選んだ写真にまつわる思い出を詳しく書きます。



活用できるアプリ



情報活用能力

情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる(ステップ1)
人の作った物を大切にし、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする(ステップ1)

1年間を振り返る

創る 活動アイデア3 思い出ビデオを作ろう

- ① 特に記憶に残っている思い出の写真を使って、「思い出ビデオ」を作ります。Numbersにまとめた写真をタップして「コピー」を選択し、Clipsで画面中央を長押しして「ペー스트」を選び、Clipsに写真を取り込みます。録画ボタンを押して、写真にまつわる思い出について書いた文章を読み上げ、録音します。この手順を写真ごとに繰り返します。
- ② 音楽をつけたりフィルタを追加したりして、作品を完成させます。



活用できるアプリ



Numbers Clips

小学校1年 | 国語

情報活用能力

情報を組み合わせて表現する方法(ステップ1)
体験や活動から疑問を持ち、解決の手順を見通したり分解して、
どのような手順の組み合わせが必要かを考えて実行する(ステップ1)
情報や情報技術を適切に使う(ステップ1)

さらに学びを深める ビデオにエフェクトを追加してみよう

- 活動アイデア3で作ったストーリーの展開に合わせて、Clipsでステッカー*1や絵文字などを追加してみましょう。エフェクトを加えれば、さらに楽しいビデオに仕上がります。
- Clipsには数多くのミュージックトラック*2が用意されています。作品作りを通して、成果物を作る際に重要となる相手意識を育み、ものごとを主体的に選定する態度を養えます。

*1、*2) Everyone Can Create : ビデオ「はじめてのムービー」 6ページ

評価する 活動アイデア4 完成したビデオを見せ合おう

活動アイデア3で作成した作品をほかの生徒たちと共有し、お互いの作品について質問合います。例えば、作品作りの過程では、なぜそのテーマを選んだのか、なぜその朗読文にしたのか、作品として完成させたことで自分の作品に自信を持っているか、特に見せたい場面はどこかなどの観点で話し合い、気づいたことを自分の言葉でまとめます。

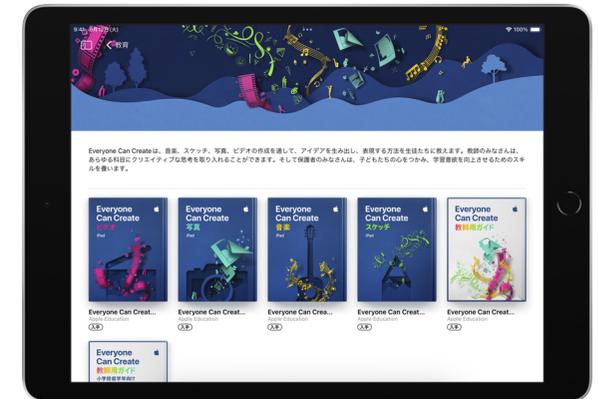
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

[さらに詳しく >](#)



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

[さらに詳しく >](#)

